

コロナ禍における 自立支援について

北海道保健福祉部 子ども未来推進局長



北海道保健福祉部
子ども未来推進局長
竹澤

竹澤孝夫

新型コロナウイルス感染症が国内、道内で発生、流行して1年半以上が経過しようとしています。

据えた新たなライフスタイルの構築に向けて、私たちもチャレンジしていくことが必要だと感じています。

さて、道では、これまで、ひとり親家庭の自立支援に向けて、「相談

のない困難に立ち向かった日本選手
が活躍する姿は、どんな環境でも
「チャレンジ」することの大切さを教

北海道でも、緊急事態宣言やまん延防止等重点措置を講じて、感染拡大防止に取り組んでいますが、感染の長期化に伴い、日常生活にも大きな影響が及んでおり、感染症の早期収束はもちろん、ポストコロナを見母子福祉センターや母子家庭等就業・自立支援センターの運営などを通じ、道内各地域で、ひとり親家庭の方々への積極的な支援活動にご尽力いただいていることに、紙面をお借りして感謝を申し上げます。

道としては、少しでも早く感染症を収束させることを優先しつつ、感染症の長期化による生活への影響などについても、会員の皆様から率直なご意見を伺う機会を設けながら、ひとり親家庭の方々はもとより、全ての道民の皆様が安心して子育てや働くことができるよう、取組を進めています。皆様方のご支援ご協力をお願ひいた

ともに、就労に必要な資格取得に「チャレンジ」する方を支援するための給付金など、様々な支援策をわかりやすくPRし、より多くの方に利用していただけるよう努めてまいります。

長引く新型コロナウイルス感染症と、次年度の東北・北海道地区研修大会開催に向けて、理事全員留任し、監事、評議員、地区母連会長と共に体制を整えました。

一同、道母連発展のため努力してまいりますのでよろしくお願ひ申し上げます。

発行日／令和3(2021)年9月
発行／社会福祉法人 北海道
〒606-0031
札幌市中央区北1条東8丁目
電話 (011) 261-0447
●題字は山高しげり先生 ●印刷業者

新年度が
スタートしました

も、コロナ感染拡大が収束した後には開催いたし、みなさんと共に偲びたいと思っています。

各事業所は、感染を防ぎ、協力し合い創意工夫して力を注ぐ職員の努力には感謝するばかりです。

人とは距離を取らざるを得ませんが、会員やお子さんの気持により添つて、声かけ合い励まし合つて、今を乗り切つて、笑顔で会える日が近いことを信じて止みません。